

平成22年度第28回小学部・中学部卒業証書授与式式辞

まだ冬の寒さが残っています。しかし、本校の正門にそびえる「くすのき」が、もうすぐ春だよってささやいています。

小学部7名、中学部10名の卒業生の皆さん、御卒業おめでとうございます。今日のみなさんにはたくましさがあり、光り輝いています。ただいま、皆さんお一人お一人に、卒業証書をお渡ししました。皆さんが未来に向かって、立派に成長し続けていることを嬉しく思いながらお渡ししました。

保護者の皆様、お子様の御卒業、誠におめでとうございます。この小学部6年間、中学部3年間で振り返って思い起こしますと、多くの御苦労があったことと思います。長年の御苦労に対しまして、改めて敬意を表します。お子様は、これから新たな階段を登っていきます。保護者の皆様とともにお子様を支え、さらなる成長に導いていくことをお約束します。

本日は、卒業生の皆さんをお祝いするために、御多用の中、広島市長 秋葉忠利様をはじめ多くの御来賓の皆様にご臨席を賜りました。本当にありがとうございます。心より、お礼申し上げます。

さて、卒業生の皆さんは、入学から卒業まで、たくさんのことを学んで成長してきました。この1年間で振り返ってみましょう。

小学部6年生の皆さんにとって、大きな思い出の一つ、新幹線で行った岡山県への修学旅行。みんなで力を合わせ、決まりを守って、楽しいこといっぱい学びました。小学部運動会での応援団長、みんなのリーダーとして活躍しました。平和公園やこども文化科学館、中区図書館など歩いて出かけた校外学習。豊かな体験をたくさんしました。3年生から幟町小学校の友達との交流を続けてきました。たくさん仲間ができました。毎日の教室の掃除。ほうきの使い方、雑巾がけが上手になりました。いつも仲がよく、友達が困っていると助けたり、できるまで待ってあげたりと、優しい心が育った6年生。

中学部3年生の皆さんもたくさん学んでできました。福岡県に行った修学旅行、明太子作りやハンマー作り。小遣い帳とにらめっこしながらのお土産のお買い物。文化祭でのファミリーコンサート。何回も練習して、一人一人が主人公になった。俳句や統計コンクールにも挑戦。広島県からの表彰も受けました。昼の休憩時間。体力作りで始めたランニング。中学部全体に広がりました。作業学習では、中心となって取り組み、後輩たちのお手本となりました。保護者を招待しての感謝祭。お父さん、お母さんに「ありがとう」の感謝の作文を贈りました。自分から「おはようございます」の挨拶ができるようになりました。友達を大切に、一つにまとまった中学部3年生。

小学部、中学部の卒業生の皆さん、皆さん一人一人いっぱい力をつけてきました。できなかったことが、いっぱいできるようになりました。小学部の卒業生は、4月から中学部です。中学部の卒業生は、4月からいよいよ高等部です。心配はいりません。大丈夫です。

卒業生の皆さん、「明るく、元気に、たくましく」、これからも一生懸命学び続けてください。そして、みんなで、はばたいてください。

結びに、小学部・中学部の先生方をはじめ本校の先生方と一緒に、卒業生の皆さんへ、「卒業おめでとう」の大きな拍手を贈り、式辞とします。

平成23年3月16日

広島市立広島特別支援学校長 中尾秀行